

自己改革着実に 山形中央会 16年度事業計画

【山形】JA山形中央会は17日、山形市で第62回通常総会を開き、2016年度の事業計画を決めた。「創造的自己改革への挑戦」を掲げた昨年11月の第27回JA山形県大会決議の実践に向けた地域貢献に力を入れ

る。長澤豊会長は「改正農協法が見直される5年後を見据え、地域や組合員から、より信頼されるJAを目指す自己改革の実践が最大の課題になる」と述べた。

の自主的取組参考値を目指す「深掘り」に取り組む。担い手対策では、地域・担い手サポートセンターを中心に地域農業を総合的にコーディネート。大口農家や農業法人などへの法務や労務、税務、会計など実務面のサポートも強化する。

て、農業者の所得増大と農業生産拡大や、地域・担い手支援強化を柱とした地域貢献に力を入れ

高年齢者福祉事業や教育文化活動、支所・支店活動の充実などを通じ、地域にも貢献していく。

具体策として、ブランド米「つや姫」など高品質・良食味米生産の継続と、最低水稻生産力40万トンの維持の他、需給改善定着に向け、地域再生協議会が把握する水田面積で